

ぱれっと Palette

4

2023 April
vol.272



特集 見直そう交通安全

農を担う 米麦・大豆・野菜農家
(株)宇津木ファーム 宇津木康文 さん (前列右)
邑久地区……………10ページ

今月の折り込み 2023年4月号カタログショッピングチラシ ほか

春の全国交通安全運動

内閣府より令和5年春の全国交通安全運動推進要領が発表されました。実施期間は、5月11日(木)～20日(土)の10日間で、運動期間最終日の5月20日は「交通事故死ゼロを目指す日」となっています。以下の3点が運動の全国重点実施事項として掲げられていますので、改めて交通安全について見直してみましょう。

①子どもを始めとする歩行者の安全確保

幼児・児童を始めとする歩行中の交通事故が多発しています。信号を守るとともに、横断歩道では走行車両がないことを確認してから渡りましょう。また、反射材を活用して周囲に存在を知らせましょう。

②横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上

横断歩道は歩行者優先で、運転者は横断歩道手前での減速義務や停止義務があります。交通ルールの遵守と歩行者や他の車両に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って運転しましょう。

③自転車のヘルメット着用と交通ルール厳守の徹底

道路交通法の一部を改正する法律の施行(令和5年4月1日予定)により、全ての自転車利用者に対してヘルメットの着用が努力義務とされます。「自転車安全利用五則」を守って運転しましょう。

～自転車安全利用五則～

①車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先



②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認



③夜間はライトを点灯



④飲酒運転は禁止



⑤ヘルメットを着用

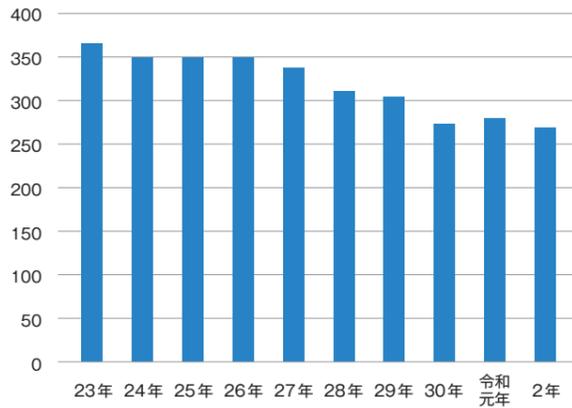


出典：内閣府交通安全対策 (https://www8.cao.go.jp/koutu/index.html)

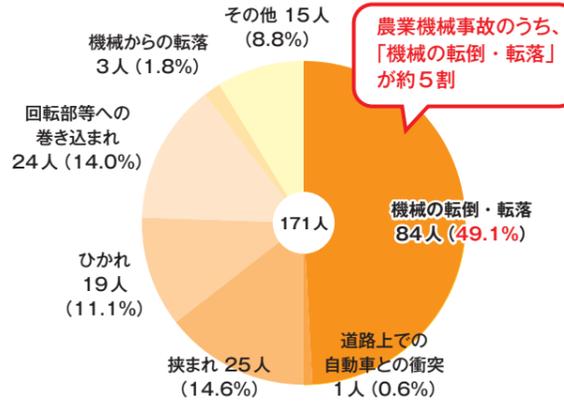
公道での農機による交通事故防止

自動車による交通事故と同様に、公道での農機による交通事故も絶えず発生しています。安全確認と予防対策で事故を防ぎましょう。

農作業中の死亡事故発生数



農業機械事故による死亡の要因(令和3年)



事故発生の要因

公道での農機の交通事故は大きく分けて単独事故と他の車両からの追突事故の2種類があります。

単独事故

- 用水路等への転落
傾斜地での横転等



追突事故

- 夜間は後続車から農機が発見されにくく、追突事故が起こります。



出典：農林水産省農作業安全対策 (https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/)

もしもの時のJA共済で安心

JAでは、車や農機での事故による賠償やご自身とご家族のケガ、修理に備える保障の自動車共済を取り扱っています。

自動車共済

相手方
への保障

ご自身と
ご家族
の保障

お車の
保障

頼れる
各種
サービス!

お得な
掛金割引!

その他にも病気やケガによる入院費用などへの備えに医療共済、農業用施設の火災や自然災害による損壊などへの備えに建物更生共済など、多くの共済を取り扱っています。もしものために備えたい、現在の保障を見直したい等、お気軽に最寄りの支所までご相談ください。

農機について、お気軽にご相談ください

- ・所有しているトラクターに安全キャブやフレームの後付けができるか知りたい!
- ・買い替えを検討しているが、安全性の高いものがよい!
- ・農機のメンテナンスについて聞きたい! など



農機について疑問や不安なこと、その他の農機についてもお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

株式会社 JA 岡山 農機車輛事業部 TEL : 086-944-0045
もしくは、最寄りの農機センターまで

事故防止の対策

ポイント1

確実な運転操作とブレーキ連結の確認

農機による交通事故はハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が多いため、道路状況等に応じた確実な運転操作を行いましょう。道路走行時は、必ず左右のブレーキを連結しましょう。ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだ時に急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。



ポイント2

安全キャブ・フレームの装着とシートベルト・ヘルメットの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用しましょう（安全フレームは倒さずに使いましょう）。農機による交通事故においても、シートベルト着用の有無により死傷状況が大きく異なります。トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。また、ヘルメットの着用にも努めましょう。



安全キャブ



安全フレーム

ポイント3

ランプ類や低速車マーク等の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気づいてもらうことが大切です。「低速車マーク」や「反射材」を設置しましょう。また、作業機を付けて公道を走行するためには、基本的にランプ類の増設が必要です。



低速車マーク

出典：農林水産省農作業安全対策 (https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/)



地域に根差した農業を実践し、 次の世代へ繋げていきたい

宇津木 康文さん

邑久地区：米麦・大豆・野菜農家

「うつぎ やすふみ」

昭和52年生まれ。株式会社宇津木ファーム代表取締役。邑久町種子生産組合所属。米麦、大豆、レタス、キャベツを栽培。趣味は旅行。座右の銘は「継続は力なり」。



農業について思いを話す宇津木さん

2月7日、邑久地区の宇津木康文さんにお話を伺いました。

祖父の代から続く 農業を受け継ぐ

―就農したきっかけは

我が家は祖父の代から続く米麦農家で、小さいころから手伝いをして育ち、その後就農しました。7年前に父から農業経営を引き継ぎ、父とJAに相談し、宇津木ファームを設立し法人化しました。

―農業を始めてからは

種子生産組合に所属しており、米「アケボノ」と麦「スカイゴールデーン」と大豆「サチユタカ」の原種の

種子生産を行い、全量JAに出荷しています。

米麦・大豆の他にレタスとキャベツも生産しており、農業経営をするうえで従業員の仕事を途切れさせない工夫をしています。

―楽しいことは

農業自体が楽しいので選ぶことは、難しいのですが、播種作業と収穫作業が好きです。

また、全ての農産物にも共通しますが、一反あたりの収量が増えることに嬉しいです。一年に一度の楽しみですが、自分が手掛けたものが成果として現れることにやりがいを感じます。

―大変なことは

天候によって、農作業が滞ってしまうことに悩まされます。悪天候が予想されるときには、作業を前倒しにするなど、優先順位をつけて農作業をしています。

―栽培上でのこだわりは

地域に根差した農業に取り組み中で環境について考えます。環境のために、地元の牡蠣殻を使った里海米の取り組みや、プラスチックごみを排出しない肥料を使用しています。

他にも、麦わらは燃やさず、全量すき込みをしています。

また、農業を始めたころから作物の近くにいることは意識しています。田んぼの中に入って作物の生育を見ながら、肥料の量やタイミングを調整しています。

次の世代に続く地域 農業の発展を目指して

―今後の抱負を康文さん、ご子息の宇津木清十郎さん、従業員の大原慎也さんに伺いました。

康文さん

地域の農業を継続していくことに力を入れていきたいです。世の中が多様多様に変わっていく中で、自分の代から次の世代へ続く農業を実践していきたいです。若い従業員には一人一人が自発的に考えて行動していき、20年後には、地域農業を担う農家に成長することを期待します。

宇津木清十郎さん

農家のイメージを変えて楽しい農業を実践し、SNS等でPRしていきたいです。

大原慎也さん

自発的に自分で考え行動できるようにしていきたいです。

聞き手：JA岡山広報担当



キャベツの収穫作業の様子



コンテナにキャベツを詰めていきます

野菜

夏野菜の準備の時期になりました



営農部指導課 祇園 将人

◎夏野菜の定植

4月になり、暖かく過ごしやすい季節になりました。畑では夏野菜の準備を始める時期になります。まずは何の苗を何本植えるかを決め、連作にならないように植える場所を決めましょう。また、5月・11月などに2回程度畑の地図をノートなどに書いて、数年間残しておくことで連作かどうか分かり易いので作成してみましょう(資料1)。

●夏野菜の生育温度

毎年、苗を買って植えたら枯れた、という話を聞きます。夏野菜は基本的に暑い時期の野菜なので、暑さには強いですが、低温には弱いです。特にキュウリ・スイカ・メロン・ナスは寒さに弱い野菜です。早い時期の露地植えは厳禁です。4月下旬などま

花き



営農部指導課 中川 雄一

きれいなシキミをつくりましょう

物日には欠かせないシキミ(樅)は植えている方が多いことと思います。盆、彼岸、暮れの需要は絶大です。管理のポイントを知って品質のよい切り枝を採りましょう。
シキミにも花言葉があります「猛毒」「甘い誘惑」。シキミは香りがよく、花もかわいいのですが、どの部位にも毒成分があることからついたもの。「援助」は、故人の極楽浄土への旅を援助するといったことから。名前の由来も一説には「悪しき美」から変化したとされ、毒性から付いたもので、果実は植物で唯一、劇物指定されていますので取り扱いにはご注意ください。

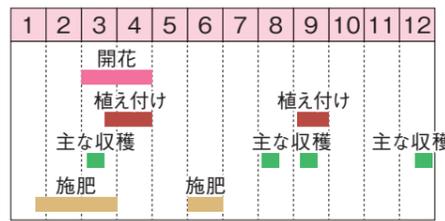
●生育特性など

排水のよい半日陰でよく生育します。ただし、あまり深く根を張らないので、乾燥にも注意が必要で、特に株が小さいうちは土壌の乾燥・過湿にも注意しましょう。
耐寒性はありませんが、暖かいところのほうが早く生育します。

●植え付けから(資料3)

①場所選びと準備
特性にあるとおり、特に真夏の乾燥は失敗のもとなので、実用上は谷あいの傾斜畑や水田で栽培す

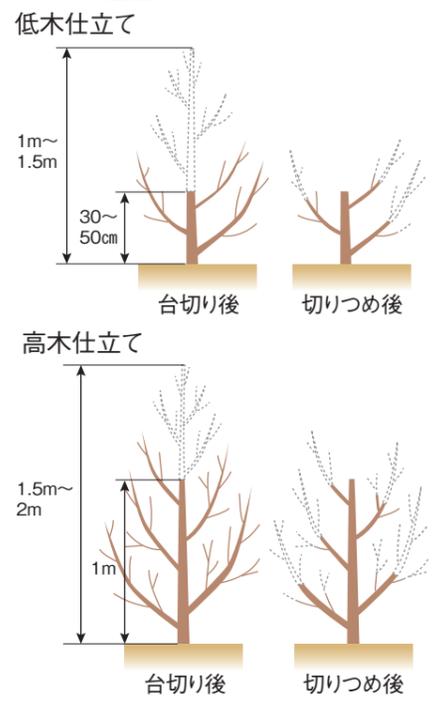
資料3 シキミの生育と年間作業



資料4 シキミグンバイ成虫の拡大写真、コミカンアブラムシ被害葉



資料5 仕立て方



だ晩霜の恐れのある時期はホットキャップや行灯を使用して寒さから苗を守りましょう。

●畑の準備

定植の2〜3週間前までに10平方メートルあたり完熟堆肥を約25kg、苦土石灰を約1.5kg施用します。そして植え付けの1週間前にJA岡山専用有機肥料等を施用し、畝立てを行います。その後、灌水をしつかり行い、マルチをして地温を高めます。野菜の生育には温度はもちろん、地温も重要になります。地温を高めておくこと定植後の根張りがスムーズになります。

●苗の準備

苗には主な品種で普通の苗(実生苗)と接木苗があります。接木苗は値段が高いですが、根が強く、実生苗より収穫量が上がります。昨年の栽培を思い出し、収穫量の少なかったものを接木苗にするのもいいでしょう。

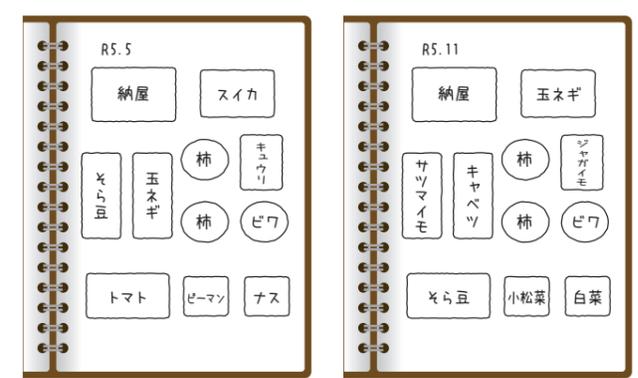
購入した苗で、小さなものではできればトンネル等で中間育苗し、もう一回り大きな苗にしましょう。その時はもう一回り大きなポットに植え替えましょう。定植が近くなると苗を外気温に慣らしていく必要があります。いきなり強い直射日光にあてるのではなく、徐々に慣らすようにしましょう。晩霜の心配のない日はトンネルのサイドをあけ、屋根だけの状態で低温にも慣らしてい

きましょう。灌水量も減らしてがっしりとした苗に仕上げましょう。

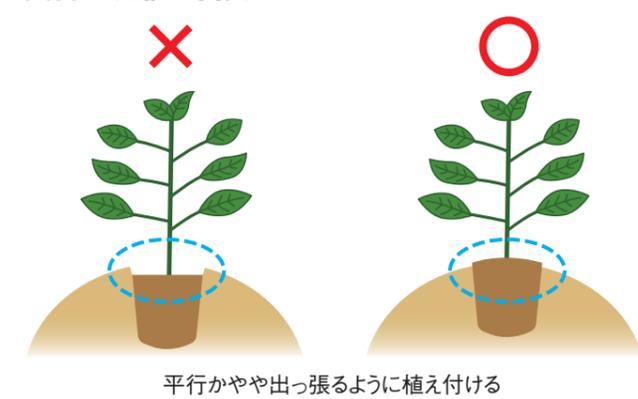
●苗の定植

定植の目安は晩霜の心配がなくなる5月中下旬が適期になります。定植前にはたっぷり水をやり、晴れた日の午前中に植え付けましょう。植え付けは、根鉢を崩さないように行います。その時、鉢土の表面が畑の土と平行かやや出っ張るように植え付けます(資料2)。くぼんだように植えると株元に水がたまり、病気になるので注意してください。苗の株元に敷きわらを行い水持ちをよくすることがありますが、あまり早く行うと晩霜にあいやすくなります。こちらも晩霜の恐れがなくな

資料1 畑の地図



資料2 定植の目安



倒伏防止に、竹の棒などを斜めに挿し、ひもで8の字に、余裕を持たせて誘引します。

●栽培管理

- ①灌水
適当に雨が降れば必要ありませんが、水切れは禁物、夏の乾燥が過ぎると枯れることがあります。必要に応じて灌水しましょう。
- ②除草
収穫までの期間が長いので油断すると雑草に負けます。遅れないように退治しましょう。
- ③病害虫対策
シキミグンバイ(資料4)
最も被害が大きい害虫で、夏の間の吸汁被害で葉の表面がかすり状に色抜けし、裏には図のような虫がいて排泄物で大変汚くなります。
スミチオン乳剤の1000倍液散布など。
・コミカンアブラムシ(資料4)
新芽を中心に葉が内側に巻いたようになっている被害に遭っています。
スミチオン乳剤1000倍、アグ

●仕立て方(資料5)

植え付け後3年から、低木仕立ての場合は、1.5m以上になった株を50〜30cmに切り戻します。高木仕立ては、1.5〜2mくらいになった株を1.5mくらいに切り戻します。
時期は2〜3月がよいでしょう。台切りのとき、強い枝を3本程度残し、弱い枝や下垂した枝は取り除きます。シキミは芽がよく吹くので、大きくなりすぎた株を1.5mくらいに切り戻して管理することもできます。

日々の管理を大切にしていきましょう



営農部指導員 武田 祐一

4月は気温の上昇とともに、果樹は発芽や展葉を迎えます。貯蔵養分を無駄に使わないためにも日々の管理が大切な時期となります。

今月はモモやナシ等の授粉作業およびブドウなどの芽かき作業の時期となります。

●授粉の目的と必要性

果樹にはブドウ、モモ、ミカンのように1品種で結実する種類(自家和合性)とナシ、リンゴ、スモモのように異なる品種の花粉が無いと結実しない品種(自家不和合性)があります。

従って、ナシ、スモモ、リンゴ、白桃などでは、異なる2品種以上を植栽するか、授粉専用品種を植えて授粉作業を行います。また、モモでも花粉の無い品種(おかやま夢白桃、白桃、大和白桃、川中島白桃など)では授粉が必要で、ナシやスモモなどでは異なる品種があっても相性が悪いことがあるので注意が必要です。他品種の花粉をもらわないと結実しない場合は混植します。木が小さい時は虫媒や風媒でも授粉されますが、木が大きく育つたり条件が悪いと授粉されないことがあるので、確実に結実させるために人工授粉を行う必要があります。キウイフルーツでは雌雄異株となっているので、雌雄の株が必要です(資料6、7)。

●人工授粉の方法について

人工授粉は、満開前の晴天に行い

ますが、確実にを行うことで種子が入り果形が整い、肥大も促進されます。方法としては、受粉樹の雄しべが開花している状態(黄色い花粉がふく)で、毛ばたきや梵天を利用して授粉する方法や開花の時期があえば花を摘み取り、結実樹の花に直接授粉する方法があります。開花の遅い授粉樹の場合は、小枝を切除し、暖かい部屋でバケツに水差ししておけば開花が早まり開花期をあわすことができます(資料8)。

授粉の時期は、朝露が乾き、温度が高くなる9時ごろから午後4時ごろまでに行います。4〜5分咲きごろと8分咲きごろの2回行うと結実が安定します。また、開花期に天候不順が続く場合は授粉回数(10分咲き)を増やしましょう。授粉後、3時間以内に降雨があると流れるので、再度授粉が必要となります。

●初期生育の促進について

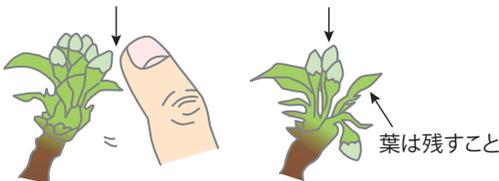
①摘花の実施
モモ(3月中旬までに摘花が不十分な場合は摘花で対応)やナシでは、開花期に余りな花を摘むことで新梢の伸長や果実肥大を促進できます。主に上向きの花を主体

②芽かきの実施
に、ナシでは別図の方法に従い実施しましょう(資料9)。
ブドウでは、向きの悪い芽や不要な芽をかいで、残った芽の生育を揃えます。樹の勢いが弱い場合は早めに、強い場合は遅くします。垂主枝の片側に25%程度の間隔に結果枝を均等に配置していきます。ナシでは、随時不要な芽が出てきますので、主枝や垂主枝の背面(上芽)や枝の切り口付近は特に注

●病害虫防除
意し、除去しましょう(資料10)。
春先の発芽、開花時期が天候不順になるとモモ灰星病や縮葉病、ナシ黒星病、赤星病など病気が多発し、温暖な天候でケムシ類やアブラムシ類などの害虫が早くから発生します。よく観察して発生初期に、果樹防除暦を参考に各品目に登録のある農薬を散布し、防除しましょう。

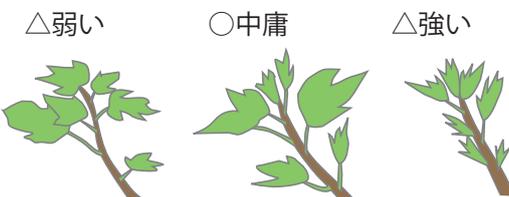
資料9 ナシの摘蕾の方法

つぼみの片側半分の 3〜4花残す
頭を押さえて、折り取る (部位によっては、全て取り除く)



※開花前になると花柄が伸びて押さえただけでは折り取れなくなる

資料10 ブドウの展葉期ごろの樹勢判断



- △弱い
 - ・先端まで展葉している
 - ・先端が停止しかけ
 - ・新梢基部は細い
- 中庸
 - ・先には未展葉がある
- △強い
 - ・元の方も未展葉
 - ・新梢基部は太い

資料6 モモの品種と花粉の有無

品目	花粉のある品種
モモ	加納岩白桃
	白鳳
	清水白桃
	白麗
	紅清水
	ゴールデンピーチなど
	花粉のない品種
	おかやま夢白桃
	白桃
	浅間白桃
大和白桃	
川中島白桃など	

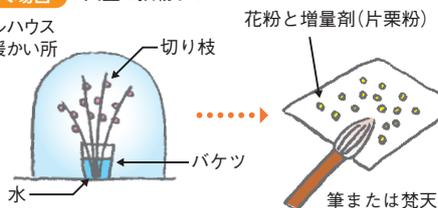
資料7 ナシの授粉和合性

♀品種	花粉品種
幸水	二十世紀、豊水
豊水	二十世紀、幸水
二十世紀	幸水、豊水
新高	二十世紀、新星
愛宕	豊水、新星

資料8 授粉の方法

授粉用品種が遅く咲く場合

ピニールハウスまたは暖かい所



開花期が同じ場合

授粉用の花を直接使う
黄色になる



ゴロっと、なす入り！
肉みそおにぎり

材料 (3個分)

ご飯…………… 1合
 豚ひき肉…………… 100g
 千両なす…………… 1/3本
 生姜…………… ひとかけ(9g)
 にんにく…………… ひとかけ(9g)
 白ごま…………… 大さじ1と小さじ1

<調味料>

砂糖…………… 大さじ3と小さじ1
 酒…………… 大さじ1と小さじ1
 みりん…………… 小さじ2と1/2
 油…………… 大さじ1
 濃口醤油…………… 大さじ1/2
 塩…………… 少々
 味噌…………… 大さじ1

- 1 生姜とにんにくをみじん切りにする。
- 2 なすを2cm角に切る。
- 3 塩と味噌以外の調味料を混ぜ合わせる。
- 4 フライパンに油をひき、1を加えて香りが立つまでじっくり炒める。
- 5 豚ひき肉を入れて炒め、色が変わり始めたら2を加える。
- 6 豚ひき肉となすに軽く火が通ったら、3を加え炒める。
- 7 水分が飛んだら火を止め、味噌を加えて混ぜる。
- 8 お皿に取り出し、粗熱をとっておく。
- 9 ご飯に白ごまと塩を加えて混ぜ、中に8の肉みそを入れて握る。

Point!

岡山県で生産額が一番多い野菜、千両なすを使用。甘辛く仕上げた肉みそは、大人から子どもまで喜ばれる万人受けの味付けです。味噌は、火を止めてから加えることで風味が残り、ゴマの香るご飯と相性が良く、食欲をそそります。

Instagram

あぐろ グラム

編集後記

約90年続く 白菜の産地

今回のあぐろグラムでは、瀬戸内市牛窓町牛窓にある石碑について紹介いたします。
 牛窓白菜は瀬戸内の温暖・多照という自然条件を生かし、地域の基幹作物として傾斜面を利用したほ場で栽培されています。

この石碑は、牛窓白菜発祥の地を記念して、長年牛窓白菜を手掛けてきた故藤岡隆平さんによって建てられました。

牛窓白菜は、肉厚でうまみ、甘みがあり食味に優れ、市場でも評価の高い野菜です。

編集担当 弘末 彩香



各種媒体で情報発信



オンラインショップ
はなやか
オンライン



Instagram



Twitter



YouTube

